

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびの『東日本大震災』は、地震、津波に加えて福島第一原発事故が発生し風評被害が生ずるなど、これまでの被災地と様相が異なり不安を抱えながらの救護活動となりましたが、いち早く本市の被災者のために医療救護活動を展開くださりまして誠にありがとうございました。

お陰様で、震災から1か月余の現在においても、避難所での死亡者が発生することなく民間施設や仮設住宅への移動が始まるなど、避難者に対する巡回診療もようやく収束の目途が付きつつあります。これも、きめ細かなご診察とフォローアップの賜物と重ねて御礼を申し上げます。

本市では、建物の損壊や床上浸水等により診療再開の見込みが立たない施設や時間を要する施設が存在するほか、原発事故がいつ収束するのか全く見通しが見えない状態であり、いわき市の地域医療復興にはまだ時間を要しますが、“がんばっぺ！いわき”を合言葉に、会員一丸になって市民・避難者の健康管理に取り組んで参りますので、今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

謹白

平成23年4月25日

いわき市医師会長 木田 光



みなみ草加クリニック副院長

白井 裕生 先生